



明けましておめでとうございます。今年度も子どもたちのわくわく・ドキドキが絶えず、保護者の方々と職員一同で見守りながら笑いあえる一年になりますよう期待しています。どうぞよろしくをお願いします。

12月は成長発表会・お楽しみ会・そして理事長サンタからのプレゼント・末には一年の締めくくりの大掃除・あっという間の一か月でした。発表会ではお子様それぞれの頑張りや日常のかわいい姿をご披露できたのではないのでしょうか。会場は狭く、入れ替わり制を行っていますが、運動発表会同様、お子様が一番心地よく、いつも通りの姿が出せ楽しんで参加できるよう保育園で行っています。保育室を使っただけの発表会として企画し、もう9年となります。はじめは導線がうまくいかなかったり、保護者の方々への周知ができていなかったりと試行錯誤しましたが、「子どもにとって」というコンセプトが保護者の方々から家族の皆さんに伝わり、広い設備の整った会場ではなく、狭いながらも保育室を会場とし、観客の保護者の方と職員と子どもたちが一体化してなんだかほんわかした空気の中で進められてこれました。今年は少し乳児クラスのお子様の受け渡しには改善が必要ですが、今後ご協力いただき、お子様それぞれの園生活がたくさんお伝えできる行事にしていきたいと思っています。

12月最後の「お楽しみ会」ではだいち組のキャンドルサービスから始まり、歌を歌ったり、職員劇を見たり・サンタのプレゼントはわくわくでしたが、会が終わった後、章夫理事長のサンタさんをイメージしていたお子様が「りじちょうサンタさんはいつくるの?」「お誕生会もお休みだったし…」と寂しそうに話にきました。新理事長との関係も楽しんでいますが、お子様にとってりじちょうサンタさんは特別の存在だったのかもしれない。また、来てくれるのをみんなで待とうね〜!と話しています。

翌日からサンタから頂いたゲームで楽しんでいたときのこと。「入れて」ときたお子様に「だめ!いれない」の会話から大きなけんかになり少し手を出してしまう悲しい結果になりました。一人は泣きながら、もう一人はちょっと痛そうな表情で事務所にやってきました。職員や本人から話を聞くと何人もゲームをしていたのに喧嘩した2人だけの出来事で終わり、二人が抜けてもそのままゲームは続いていて、困ったのは二人だけ。手を出されたお子様は「痛い」「~ちゃんがやった」と。その手を出したお子様に聞くと「何回もお願いしたのに「ダメ」「無理」しか言ってもらえず聞いてもらえなかったので手を出してしまったとの事。

どちらにもいろいろ尋ね、自分の思いを話してもらいました。やった・やられたということではなくそのようになった時、自分でどうすればよかったのか気づいてもらえるよう時間を取りました。そして幼児全体で、この出来事をしっかり伝えました。自分のこととして考えてもらいたかったんです。それぞれの仲間たちから意見が出ました。「こうすべきだった」と原因を追究する子や自分に相談しに来てもいいよという子も。

その中でだいちのお兄ちゃんが「僕が思うこと話してあげる」と立ち上がり話し始めました。

「~ちゃんは寝たらいろんなこと忘れる?」

「僕は忘れてしまうこともある」とまず、自分はできないこともあるということを前提に話しました。「でも、今回のけんかは忘れたらだめだと思う。~ちゃんはよせてもらえず悲しい気持ちになったこと。違う方法をしたらけんかにならなかったということ覚えておかないといけないよ」と手を取りしっかり目を見て話してくれました。

私たち大人が時間を取って戒めていく方法より今回の教育的指導は素晴らしく、だいちのお子様の成長にうれしく頼もしく感じました。喧嘩をしてしまった二人にもきっとこの気持ちは届き、何かあるとお兄ちゃんの言葉を思い返してくれることを期待して話し合いは終わりました。

この素敵な異年齢の関係をできるだけ日ごろの生活の報告でお伝えしていきたいと思いました。さあ、新しい年。子どもたちのたくさんのエピソードを探していきたいと思っています。

2020年みなさまのような年をお迎えでしょうか。

家族での帰省、年末・年始も頑張って仕事の保護者の方もあり、年末年始の過ごし方も様々だったと思います。このお休みでご家族でどのようなことを経験されましたか？

かえて保育園の子どもたちは、寒い日も外で遊ぶことを楽しんでいますので、休みの間、「公園に行きたい」「保育園いきたい！」と言ってくれたのかもしれませんが、一月は一年で一番寒い時期となりますが、天気の良い日は子どもたちと体を動かし、お日様の温かさを感じながらもうすぐ訪れる春を皆さんで待ちたいと思います。

先日の成長発表会に多くのご家族のみなさまにお越しいただきありがとうございました。

かえて保育園の子どもたちは幸せです。たくさんの大人、家族に「成長」を観て頂き、笑顔もたくさん送ってもらいました。私たちは保護者のみなさまと子どもたちの成長を「共感」できたことがなによりです。アンケートでもたくさんのメッセージを頂いたことに感謝しています。残念ながら会場の都合で1部2部と分けて会を行っています。DVDをご覧頂く日には、是非ご家族で全園児の成長を観て頂きましたら幸いです。

2020年・令和2年、「2」がいっぱい、にこにこ笑顔の多い1年でありますように

今年もよろしくお願いいたします。

主幹保育教諭 藤森 寿美

先日の成長発表会では、乳児さんの可愛らしい姿、ドキドキの表情をご覧いただけだと思います。めばえ・ふたばぐみはスライドで春からの写真や動画で、今までの成長も一緒に実感していただけていたら幸いです。「緊張するだろうな」と予想していましたが、その緊張も抑えつつ人前に出られたときは、保育者一同ほっとしたのと同時に、頑張ったねと強く抱きしめたくなりました。保護者の方も同じ気持ちでご覧になられたでしょうか。来年はどんなことをするのか、と楽しみになさっててください。

さて、新しい年になりました。1年を振り返ると、変わったこともあります。変わらないものもたくさんありますね。こんなことも出来るようになったのかと驚かされることもあります。小さいときから変わらないなとほっこりすることもあります。「ぼくがついてるから、だいじょぶ、だいじょぶ」と言ってくれたと思えば、「せんせいもついてきて」とちょっぴり泣きべそをかきながら言われたりすると、たまりません。その変わったことと変わらないことを行き来しながら、お子様の成長と一緒に喜びたいと思います。今年もよろしくお願いいたします。

乳児リーダー 谷角 早紀

【 今月の先生コーナー 】

先日、私の母園に通っているお子様が一時保育で遊びに来ていました。

幼稚園での話を聞いていると、自分が通っていたころのことを思い出して、とても懐かしく感じました。そして話を聞いていくうちにわかったことが、幼稚園からの幼なじみがそのお子様の担任の先生だったのです。幼少期はお互いに保育者になることなんて全く考えておらず、(私も幼なじみもケーキ屋さんで働いて、ケーキをたくさん食べることが夢でした)大人になってから、同じ職業についていることがなんだか不思議に感じました。

働く場所は違いますが、今でも近況報告をしたり、懐かしい話もできる幼なじみは大切な存在です。かえて保育園に通っている子どもたちが、どんな大人になっていくのかとても楽しみに感じる出来事でした。

幼児リーダー 林 奈津美

～めばえぐみ～

ねらい：「身体を動かして遊ぶ・好きな遊びを見つける」

う た：「まめまき・むすんでひらいて・とんとんひげじいさん」

今年もめばえさんは元気いっぱい遊びたいです。外でたくさん遊んだあとはお部屋に入り、手を保育者と一緒に洗って着替えをします。服を脱ぐ時には大人が袖を引っ張ると自分で手を抜こうとしたり、ズボンを履く時には足を上げて自ら着脱をしようとしています。

生活の中でもすこしずつたくさんことができるようになり「自分でやりたい」という気持ちが強くなっています。

おいしいなあ

毎日たくさん動いて遊んだあとは美味しいご飯を食べておわかりちょうだいとお腹がいっぱいになるまで食べるめばえさん。

4月は先生のお膝の上で食べていた子ども達も今では、みんな自分で椅子に座ってスプーンを持って食事をしています。

始めはスプーンを片手に手づかみで食べていましたが、だんだん自分でお皿に方手を添えてご飯やおかずが救えるようになり、少しずつスプーンを使って一人で食事ができるようになりました。

コップやお汁の器も口に運ぶ手前で傾けてしまい、なかなかうまく飲むことができなかった子ども達も今では、両手で持ち口に運び

「ごくごく」と上手に飲んでいきます。

食事の中でもひとつひとつできることが増えてきたみんなを見てると日々成長を感じ嬉しくなります。



これはだれかなあ？

めばえのお部屋に新しく子ども達の写真を使って

「いないいないばあ」のめくる壁面ができました。

それを見つけたこどもたちは「なにななあ、これ？」と近寄り、めくるとお友達や自分のお顔が出来てくると、「ばあ」といいながらみんなで楽しそうに写真をめくりながら遊んでいます。

保育者が「〇〇くん、〇〇ちゃんは？」と問いかけると写真を指差して教えてくれます。

またお外で遊んでいて帽子が落ちているのを見つけるとまわりきょろきょろ見渡し保育者に持ってきます。

そして「〇〇ちゃんに渡してあげて」と伝えるとお友達を探してその子の帽子を「どうぞ」と渡して頭にかぶせようとしている姿がたくさんみられようになりました。

“担任の思い”

たくさん遊びが広がり、ランチルームやお外で階段を登ったり、マット遊びをしてたくさん身体を動かして遊んでいます。型落とし用に置いていたチェーンをおままごとを持ってきて「ちゅるちゅる！」と言っておいしそうに麺に見立てて遊んでいたりと、お皿をあたりにかぶり帽子替わりにしたりしています。こどもたちの遊びのなかで「やってみたい」の気持ちや「おもしろい」の詰まった遊びを大事にしながらい見守り、遊びを広げていきたいです。

～ふたばぐみ～

ねらい：「友だちと集団遊びを楽しむ・園庭で身体を動かして遊ぶ」

う た：「おもちゃのチャチャチャ」 わらべうた：「オヤコビネムシ」

せいちょう発表会では子どもたちの成長の様子や舞台に出て緊張しながらもわらべ歌などを披露してくれました。緊張して固まっていた子もいましたが、それも子ども達らしい一面でかわいかったですね。舞台に出て披露したことでさらに遊びが広がり、わらべうたを友達と張り切ってしていたり歌を歌って遊んでいます。

～むっくりくまさん～

つぼみ組さんたちがむっくりくまさんをしていると「あれはなんだろう、楽しそう！」と興味津々でふたばさんも一緒にやってみていました。お友達と手を繋いで円になり歌を歌って最後は追いかける集団遊びなのですが、何回かやってみるとすぐにやり方を覚え、みんなで手を繋いで遊んでいます。今は「友達と一緒に遊ぶ」「手を繋ぐ」ことが楽しいようで最近は毎日むっくりくまさんで遊んでいます。くまさん役で追いかける子も追いかけて逃げられる子もとても楽しそうに遊んでいます。まだまだ集団遊びは難しいのかなと感じていたのですが興味を持った遊びはすぐに覚え、友だちと一緒に遊んでいる姿を見ると「すごいなあ」と保育者の方が驚くほどです。たくさん身体を動かして寒い冬も元気いっぱい過ごそうと思います。



～おいしいね～

12月から食事を子ども4人に対し保育者1名で見守っています。隣に座っている友だちと会話を楽しみながら食事をしています。苦手な野菜があった時には隣のお友達が「おいしいよ、食べてごらん」と優しく声をかけると苦手な野菜も一口ぱくっ。「おいしい～」と表情が明るくなります。エプロンを付けたり外したりタオルで口を綺麗に拭くのもお手の物。4月から繰り返してきたことはもうすっかり上手に出来ています。おやつ

の時でもみんなで一緒に座るといつもニコニコ顔を見合わせながら食べています。暖かい気持ちで温かいご飯を食べ、ほっこりする時間を大切にしていきたいですね。

“担任の思い”

友だち同士の関わりを見ているともちろん言葉で伝えられない時もありますが、その子の好きな物や好きな事等をよく知っていて表情から気持ちを読み取ろうとしながら遊んでいます。毎日一緒に過ごす中で知ったことをきちんと子ども達の中で考えて取り入れながら過ごしている姿を見ると、本当に友だちのことが好きなんだと感じます。月齢差は関係なく同じクラスの友だちとして、出来ない事も共有し助け合いながら一緒に過ごしていて、子ども達の絆の深さと愛情を感じる日々です。年が明けるとあっという間につぼみ組に進級。寂しさもありますが、子どもたちの毎日の気持ちや成長にみんなで寄り添い、共有しながら元気いっぱい過ごしていきたいです。

原田 千尋・林 千紗・安藤 由佳

ねらい：「集団で遊ぶことを楽しむ・自分の思いを伝えたり、相手に気持ちを伝える」

う た：「コンコンクシャンのうた・ゆき・まめまき」

成長発表会では、きゅうりの栽培やおむしへの興味から子どもたちの遊びが広がり、友達同士の関わりもより見られるようになりました。園での普段の様子を見て頂くことが出来て良かったです。人前に出ることで少し緊張しながらも歌や手遊び、子どもたちが普段している遊びを見てもらうことが出来たことで、人前で何かをする時の自信に繋がって欲しいです。外遊びでは、上着を着て体温調整をしながらも園庭に出ると、お友達と電車ごっこやボール遊びなど身体を動かして遊ぶことを楽しんでいます。

～いっしょにあそぼ！～

最近では、友達との関わりがより一層深まってきています。園庭や室内でも「入れて」と声を掛けたり「一緒にしよ！」と友達を誘って好きな遊びを楽しんでいます。園庭では、フープや短縄を使って電車ごっこをしています。「のりませんか～」 「次は〇〇にいきますよ」と話しながらお友達を乗せて長い電車を作って遊んでいます。子どもたちの声から、おにごっこやむっくりくまさんなどの遊びをすることもあり、保育者と一緒にルールを確認しながら元気に園庭を走り回って集団遊びを楽しんでいます。“友達と一緒に” が遊びや生活の中でも増え、保育者よりも友達と過ごす中で楽しさを共感し合い、目を見合わせて笑い合う姿に寂しさを感じながらも嬉しく思います。



～できるよ～

生活の流れが分かり、いろいろなことが「自分でやりたい」になりました。「次は〇〇だね」と保育者や友達に尋ねながら、身の回りのことは自分で進めています。生活面では着脱の際、自分で着替える



ことだけでなく脱いだ服を表に戻して丁寧に畳めるようにもなりました。ボタンなど難しいところは友達に手伝ってもらい、「どうしたの？」と声を掛けて助け合う姿もあり、着替え終わると「見て、もうできた！」と自信気な様子です。食後にデザートのお皿の片付けやコップで口を



ゆすぎこれからの歯磨きに繋げていきます。保育者がすることを見て手伝ってくれることもあり、日々子どもたちの成長を感じています。遊びや生活の中でも少しずつ難しいことに挑戦している姿を見守り、出来たことや楽しさ・喜びなどを一緒に共感していきたいです。又、時には“甘えたい”時は思い切り抱きしめたり、見守ったりして成長を喜びたいと思います。

“担任の思い”

友達と過ごす中で「どうして？」「〇〇だから？」と相手の気持ちを汲み取りながら関わろうとしています。上手く思いが伝わらないこともあります。自分の思いを言葉で表すことが少しずつ出来るようになり、お互いに伝え合う中で相手の気持ちに気づくこともあります。伝え方によって相手に伝わる思いが違うこともあります。言葉を上手に選んで伝えることは難しいことですが、互いに思いを伝えようとする姿を受け止め、自分の気持ちや感じた思いを相手に伝えていけるようにしていきたいです。

～いぶきぐみ～

ねらい：「ルールのあるあそび知り、友だちと楽しむ」「日本の伝統文化やあそびに触れる」

う た：「北風小僧のかんたろう」

日が短くなると、室内で過ごす時間も増えていきました。ひかりさんだいちさんと同じ空間で過ごしていることで、自然とあそびのルールを覚えているようです。今はオセロへの興味が膨らんでいて、時にはいぶきさん同士で対戦していることもあります。年末は大きなクリスマスツリーを積み木で作ったり、年末年始の挨拶を知ることも出来ました。『お正月』の歌に出てくる凧揚げを楽しみにしている子もいます。12月、生活面では鞆の中に服を片付けることが習慣となっていました。食事の前にお手洗いにいくと食事中に行かなくてもすむこと、肌着をズボンに入れる時には背中まで丁寧に確かめることなど、保育者に見守られながら自分で出来ることも少しずつ増えています。今からお正月の話を一息懸命話してくれるみんなの姿が思い浮かび、また一月からのいぶきさんも楽しみです。



“せんせいには、内緒だよ”

塗り絵ブームはなかなか冷めやらず、よく観察すると枠からはみ出さずに塗れるようになっていました。

しかし毎日のように塗り絵をしているとだんだんと“早く完成させたい”という気持ちが強くなっていくのか、中の円形だけ塗り、外側の模様は捨ててしまう子の姿が出てきました。どうしたものか…と考え、子どもに尋ねてみると「え、だってここだけがいいんだもん」とのこと。好きな模様のところでとめていているというよりも、気持ちが継続する時間もあるのではと考えました。

「途中までがよかったら、また後で続きするのはどう？」と提案してみると、「うん…」とどこか納得のいかない表情。幼児クラスの職員間で子どもの様子について話をし、どのように関わるのが子どもにとって良いのか日々考え保育を進めています。塗り絵についても「最後まで完成して、“できた！”の達成感を味わってほしいね」「ものを大切に使うことも伝えていこう」と話していました。再び塗り絵を楽しんでいる姿を見つけた保育者Aが後ろから様子を見てみると、「ねえ、ここの真ん中だけ塗ろうね」「A先生には内緒で切り取ろうね」と話していた様子を見つけてしまったのです…！子どもたちの会話に驚いたと共に、見ていないところでこっそりと内緒を共有したいいぶきさんの成長に感心した出来事でした。ものを大切に使うことを伝えきれていないのかと反省していましたが、“もしかすると、様々なサイズの塗り絵を用意してみてもよいのでは…？”と、環境を見直すきっかけでもありました。大人の思いが伝わっていないと感じる時や子どもが納得していない時、子どもの中にはきっと何か別の想いが隠されています。子ども同士でこっそりとおこなわれている日々の“内緒ばなし”、そーっと覗いてみたいですね。

“友だちのピンチ”

体育あそびでの一コマ、みんなで初めての鬼ごっこを経験した日のことでした。「鬼をしたい人？」と尋ねられると、ほとんどの子が張り切って手を挙げていました。なかなか捕まえられず大変な思いも経験していく中で、きっと逃げる役の楽しさにもこれから気付いていくのだろう、と先の成長も楽しみに感じました。鬼ごっこが始まり、園庭の真ん中で2人の鬼から一生懸命みんな逃げていきます。楽しそうに走っていたその時、Bちゃんが勢いよく転んでしまいました。自分で起き上がったものの、擦りむいた膝は痛み、楽しかった気持ちも途切れてしまいました。すると、Bちゃんの様子に気付いた友だちが、鬼ごっこの足を止めてBちゃんの周りに集まってきてくれたのです。



“鬼につかまっちゃうよ”と心の中でははらはらしながら見守っていましたが、いぶきさんにとっては逃げるよりも、目の前の悲しんでいる友だちの様子に自然と足が向いたようでした。

“担任の思い”

“せんせいには、ないしょ”というの、生きていく中で培った知恵だと感心しました。内緒を誰かと共有することは、何だかわくわくした気持ちになりますね。今までは共有してくれる相手が大人でありましたが、友だちとの間に世界を広げ、信頼できる心地の良い関係を築いているのだと思うと、この一年での成長を改めて感じます。体育あそびでの姿も同様ですが、大人が教えることよりも遥かに、子どもは経験したことで学び成長していくと考えています。生まれてから3歳、4歳のこれまでに経験したことが、一人ひとりの力や心を育てているのですね。これからも、友だちとのやりとりで感じた喜びや悲しい気持ち、悲しみや悔しさに共感してくれた仲間の温かさなど、どの経験も人と繋がる力へと変わっていくことと思います。

河本 彩奈

ねらい：「遊びのなかで相手の気持ちを受け止める」

う た：「きたかぜ小僧のかんたろう」「ゆき」「赤鬼と青鬼のタンゴ」

新しい年になり、ひかり組として過ごすのも残り3ヶ月になりました。成長発表会を終えて、楽しかったという気持ちだけでなく、達成感や喜びなど様々な気持ちを経験し、顔を見るとまた一つ成長したように感じます。だいち組になるまでの残りの1日1日を大切にしながら今しかできない、どんな事も思いっきり楽しむひかり組で過ごしてきた日々を振り返っていきたいです。そしてだいちさんへの憧れや期待を感じる事ができるように過ごしていきたいと思います。

“子ども達の自信へ繋がる”

今年の成長発表会では異年齢での関わりをたくさん見て頂くことができたと思います。そんな中で、ひかり組は友達と司会を務めました。

成長発表会の前に子ども達に「ひかり組は司会をするんだよ、できるかな」と伝えたと、嬉しそうな表情の半面、少し不安な様子も見られました。1組ずつ何を言うのか確認をしてみてください、言うタイミングが友だちとバラバラだったり、何を言うのか忘れてしまう子どももいました。「どうしよう」と戸惑う姿もありましたが、見ていたひかり組の友だちが言う言葉を教えてくれたり、

「せーのって言ったら」など意見を出してくれました。友だちと上手く言えるようになると、子ども達は少しずつ自信がつけました。時には、舞台上立つと緊張する姿もありましたが、友だちがと一緒だから頑張れたように感じます。

成長発表会当日、私自身初めての成長発表会なので子ども達同様緊張していました。しかし、子ども達と目を合わせると“緊張”よりも“楽しもう”という気持ちに変わっていました。子ども達の笑顔が私にとって何よりも自信に繋がると感じた日になりました。



“カブトムシのお家を作ろう”

ひかり組になってたくさんの生き物のお世話をしてきました。今はカブトムシの幼虫とカエルだけとなりました。死んでしまった虫たちの分も今いる生き物たちを大切にしようとして子ども達との話し合いでなりました。そして、保育園が年末年始休みになるので、みんなが「カブトムシ寂しくならないかな」「寒くないかな」という声があり、カブトムシの家を新しく作ることにしました。「どんな家がいいかな」と聞くと、「屋根を付けたらいいんじゃない」「ドアもつけようよ」と子ども達のなかで話が盛り上がりしました。

アートコーナーにあるもので何が出来るかなと考え、段ボールを使って



家を作りました。作り始めると、子ども達の思いがどんどん溢れ、家が少しずつできてきました。作っていると「えんとつもつけようよ」とアートコーナーから持ってきて、子ども達で工夫しながら作っています。まだ完成はしていませんが、どんな家が完成するのか楽しみです。

カブトムシに「早く大きくなってね」と願う子ども達でした。

“担任の思い”

成長発表会では、友だち同士で助け合う姿も見ることができました。楽しむ気持ちと不安な気持ち、緊張した気持ち等、たくさんの思いを経験したように感じます。異年齢でもひかり組での司会も友だちのことを考えて行動したり、思いやる気持ちが見られました。成長発表会を終えた子ども達はなんだかやりきり、成長したように思います。また、生き物が死んだ時も感謝の気持ちを言いながら優しく土をかけていました。生き物のお世話を通じて思いやりの気持ちを育てているように感じます。

～だいちぐみ～

ねらい：「時間を意識して過ごす」「物の管理を自分でする」

う た：「赤鬼と青鬼のタンゴ」 「北風小僧のかんたろう」



“ひとりみんなのために、みんなはひとりのために”

成長発表会をずっと楽しみにしていた子どもたちは、歌も劇も合奏も、やってみたいことを積極的に伝えてくれたため、そのひとつひとつの意見をくみ取りながら進めていきました。

劇あそびでは、だいち組になってから今まで過ごしてきたことや、話を繋げていく表情は本当に好きなように表現していました。くにつれて、子どもたちの真剣に向



夢中になっていたことを振り返楽しそうで、一人ひとりが自分の合奏も劇も少しずつ形になっていき合う気持ちも増し、15人全員の気持ちを一つにする難しさを感じているようでした。

合奏の中での手話も、相手に伝わりやすいようにするにはどうすればいいのかと考え、歌う時に2列に分かれて向い合せになって相手に届けようという気持ちで手話を練習する姿も見られました。

全員でやり遂げたいという気持ちがあるからこそ、一人ひとりが周りを思いやることや、相手の気持ちを考えることの大切さに気付いて欲しいという想いから、一日の終わりに「友だちの素敵なところ」を発表することを始めました。

「劇のとき、大きな声で言っていて素敵だった！」「忍者の走り方がかっこよかった！」「楽器を片付ける時手伝えてくれて嬉しかった！」などなど、素敵なおところ探しは日に日に増えていき、伝えた方も、褒められた方もなんだか照れくさそうで、とても温かい雰囲気の中発表していました。

素敵なおところ探しを続けていながら、発表会の準備をしていくなかで、自然と周りのお友達の様子をよく見ていたり、相手を思いやることに繋がっているように感じました。

一人では上手いかない歌も合奏も劇も、一人ひとりがみんなのことを考えると出来るのではないかという意見にも繋がりました。

すると、「それ聞いたことある！ワン フォー オールってやつ？」「そうだ！だいち組はワンチームだ！」と話が盛り上がり、それから劇あそびや合奏をする前は「ワン フォー オール！オール フォー ワン！」という掛け声が始まるようになりました。

成長発表会当日も緊張している様子でしたが、

「大丈夫、だいち組はもうワンチームになっているから。」と声を掛けあう姿も見られ、みんなの気持ちが一つになったからこそ、一人ひとりが自信をもって表現できていたのではないかな、と感じました。



“担任の想い”

子ども達から「ワン フォー オール」という言葉が出てきたときは驚きましたが、気持ちが一つになってきたように感じます。お互いにいいところを伝え合うことは、成長発表会が終わってからも続いており「今日ね、こんないいところ見つけたんだ。」と、発表する時間が待ちきれず、こっそり伝えに来てくれるお友達もいます。生活や遊びのなかで困っている友だちがいた時にも積極的に声を掛けてくれたり、助けに行こうとする姿が増えてきていて、一緒に生活していくなかで、大切な仲間として関わっているように感じます。卒園しても、大人になっても15人は大切な仲間であってほしいです。

林 奈津美

保護者の方からのおはなしコーナー

入園当初はうまく動けず泣いている事が多かったのですが、今は先生に甘えたり友達と遊んだり、笑顔がたくさん見られるようになりました。親より先につえんつえ（せんせい）と言うようになったので、早く親も言ってくれないかなーと毎日いきかせてます。

めばえ組 みのりさん

最近、すごくしっかりしてきた息子。
例えば「危ないから走ったらだめよ」と注意したことに對して「人にぶつかると怪我するから」など、理由をしっかりと理解していることが多いです。成長が早くてびっくりされることがたくさんです。

つぼみ組 まことさん

保育園で何して遊んだの？」と聞くと「忘れちゃった」という娘。そんなもんか、とおもっていたら最近「内緒！」というように。お迎えに行くと女の子だけで集まっており、「何してるの？」と聞くとみんな「内緒！」こうやって少しずつ友達との世界を作っていくんだなあと思い、成長を感じるのと同時に、少し寂しい気持ちもしました。

いぶき組 みきこさん

この前、お迎えに行くとラグビーのハカをしてました。その後、ドッチボールが始まり、とってもかわいかったです。家に帰り、あれ毎回やってんの？と聞くと、「毎回ではない。俺はその後のドッチボールに力を使うから、ハカは力を入れずに手を抜いてやってる」と言って面白かったです。

だいち組 まりこさん



今年も保護者の方々の温かいメッセージ

楽しみにしております。どうぞよろしく申し上げます



☆お台所から☆

あけましておめでとうございます。

今年もかえで保育園のおともだちが元気に過ごせるように心温まるごはん・おやつを作っていきます。
本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

12月の食育活動の様子

・ふたば組

冬至の日のごはん「かぼちゃのいとこ煮」に使うかぼちゃの種を取りました。大きいね、重たいねともだち同士でお話したり、少し固いところも手にグッと力を入れて頑張ってくれました。

・つぼみ組

白菜をちぎりました。大きな白菜を目の前にすると、あ！白菜だ知ってる！と興味深々でした。このくらい大きさがいいかな？と何度も確認しみんな大切にちぎっていましたよ。

1月に予定している食育活動

・おせち料理を食べる。 ・七草の意味や材料を知り七草粥を食べてみる。

そのほかには野菜をちぎったり、ピーラーを使って皮を剥いたり野菜の下処理を考えています。

1月の献立 旬の食材

白菜	ほうれん草	大根
ごぼう	れんこん	水菜
ブロッコリー	みかん	いよかん

<かえで保育園のおすすめレシピです♪>

<カブと柿のサラダ>

【材料】

- ・カブ 2個
- ・柿 1個
- ☆酢 大さじ2
- ☆砂糖 大さじ2
- ☆塩 小さじ1/2
- ☆油 大さじ1

【作り方】

- ①カブは皮を剥き食べやすい大きさに切りさっと茹で水気を切っておく。
- ②柿は種、皮を取りカブと同じくらいの大きさに切る。
- ③☆をすべて混ぜ合わせておく。
- ④材料と調味料を合えれば出来上がり。



かぼちゃの種とり



温かい柚湯を飲みました



お楽しみ会のケーキ



白菜ちぎり



★お願い★

- 10月より消費税の改訂に伴い料金の変更がありました。
10・11・12月分×消費税27円=81円を1月の徴収させていただきます。
布団レンタル料 1か月1447円となります。
- 1月25日午前 かえでカフェ
(葉っぱりウムづくり) (フラダンス仕上げ)
午後 ダンデタイムを開催します。
繰り合わせご参加ください

- 1月18日(土)は西宮私立保育協会主催の職員新年の集いへの参加のため家庭保育のご協力をお願いしています。保育は就労の方のみ13時までとなりますのでご了承ください。
- 1月8日(水)はおもちつきです。
たくさんのお手伝い申し込みをありがとうございます。予定以上の人数となりましたので締め切らせていただきます。

こんなことしたよ♪



1月予定

14日はせいちょう発表会がありました。
1部ではスライドを中心に普通の遊びや春からの成長を感じて頂けたと思います。
つぼみ組もかわいかったですね。
2部は今年度大切にしてきた異年齢での関わりを劇や合奏を通し、ご覧いただきました。



子ども達が普段楽しんでいる歌や虫、お祭り、だいちさんの忍者との出会い等たくさんの思いを取り入れた楽しいものとなりました。
お忙しい中、沢山のご参加ありがとうございました。

- 1月4日 新年保育スタート
- 8日 おもちつき
- 9日 眼科健診 保健師巡回指導
- 10日 絵画
- 16日 スマイル
- 17日 避難訓練 浜脇防災訓練
震災を振り返る日
- 21日 ひかり・だいち雪遊び
- 25日 かえでカフェ・ダンデタイム
- 27日 絵画
- 28日 育児カウンセリング
- 31日 誕生会 月例健診

24日はお楽しみ会がありました。
みんなで歌を歌ったり、だいち組さんのキャンドルサービスを見たり、楽しく過ごす事が出来ました。
また、理事長サンタさんから素敵なプレゼントももらいましたよ。

- 2月
- 8日 楽しいかえでの日(前園児の作品展)
- 29日 2020年度新入園児説明会



- 3月
- 4日 酒蔵見学
- 14日 卒園式 3歳児以下のお子様は家庭保育となります